

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における木津中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年4月から7月末までの期間に、2年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- （1）子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （2）各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- （3）各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・木津中学校では、2年生 44名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、20mシャトルラン

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立木津	中学校	生徒数	44
--------	-----	-----	----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	23.00	26.22	34.78	45.91		84.04	7.79	187.22	22.57	37.69
大阪市	29.00	27.45	41.55	51.39	409.58	84.05	8.10	189.74	20.39	41.00
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
女子	22.05	23.05	42.80	44.21		58.95	8.72	162.47	13.63	46.84
大阪市	24.11	23.81	44.70	46.89	303.77	57.92	8.95	165.67	13.06	49.27
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

結果の概要

毎年結果は同じような傾向にあるが、本年度は全国・大阪市を上回る結果となった項目が例年より少なくなりました。各生徒のの運動の得意不得意があるが各々が持っている能力、特に柔軟性については例年より劣る状況となつてしまい、体育の授業で取り組んでいる補強運動では補うことができなかった。

柔軟性については短時間で身に付くような項目ではなく幼少時からの習慣的な部分であるため、体育授業における小中連携に必要性も大切になってくると思われる。

本校の特性としては、走ること・投げることに関しては、毎年全国平均を上回っており、この項目における数値を下げることなく他の種目の向上に取り組む必要性を毎年感じさせられ、担当者と創意工夫を凝らしているが未だ実現できない状況である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校に生徒は男女ともに、運動・スポーツに強く興味関心を示しており、体育の授業・体育大会・水泳大会・球技大会などの体育的行事に対して非常に意欲的に取り組んでいる。

全国体力・運動能力・運動習慣等調査においては、いくつかの項目において対全国・大阪市の数値と比較において下回る数値が示されており、それを改善すべく体育担当者が創意工夫を凝らした補強運動を取り入れるなど様々な取り組みを進めているが、習慣性の強い調査項目についてはなかなか改善されないのが実情である。そのため特に柔軟性を高める運動については、各家庭において体が温まっている風呂上りなどにストレッチをするように等と指導を繰り返しているがなかなか定着しないようである。

今後は小中連携を進める中で、健康面や食生活・生活環境の改善などを各家庭により一層訴えていかなければならないと痛感している。

現在、日本の平均寿命は世界第2位 男性80.98歳女性87.14歳と高齢になっており、健康に生活するための生涯スポーツに関心を示さなければならぬと考えている。生徒質問項目では中学校を卒業すると運動することが減少するような結果が出ており生活環境の見直しなど、健康に長生きするための手段として食育・運動を見直し必要があると思われる。

平成30年度 体力づくりアクションプラン（提出用）

大阪市立木津 中学校

生徒数

44

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	23.00	26.22	34.78	45.91	0.00	84.04	7.79	187.22	22.57	37.69
大阪市	29.00	27.45	41.55	51.39	409.58	84.05	8.10	189.74	20.39	41.00
全国	28.89	27.45	43.20	51.89	391.23	85.99	7.99	194.54	20.56	42.11
女子	22.05	23.05	42.80	44.21	0.00	58.95	8.72	162.47	13.63	46.84
大阪市	24.11	23.81	44.70	46.89	303.77	57.92	8.95	165.67	13.06	49.27
全国	23.82	23.73	45.86	46.76	287.36	59.14	8.80	168.57	12.96	49.97

結果の概要

毎年結果は同じような傾向にあるが、本年度は全国・大阪市を上回る結果となった項目が例年より少なくなりました。各生徒の運動の得意不得意があるが各々が持っている能力、特に柔軟性については例年より劣る状況となってしまう、体育の授業で取り組んでいる補強運動では補うことができなかった。

柔軟性については短時間で身に付くような項目ではなく幼少時からの習慣的な部分であるため、体育授業における小中連携に必要性も大切になってくると思われる。

本校の特性としては、走る・投げるに関しては、毎年全国平均を上回っており、この項目における数値を下げることなく他の種目の向上に取り組む必要性を毎年感じさせられ、担当者と創意工夫を凝らしているが未だ実現できない状況である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校に生徒は男女ともに、運動・スポーツに強く興味関心を示しており、体育の授業・体育大会・水泳大会・球技大会などの体育的行事に対して非常に意欲的に取り組んでいる。

全国体力・運動能力・運動習慣等調査においては、いくつかの項目において対全国・大阪市の数値と比較において下回る数値が示されており、それを改善すべく体育担当者が創意工夫を凝らした補強運動を取り入れるなど様々な取り組みを進めているが、習慣性の強い調査項目についてはなかなか改善されないのが実情である。そのため特に柔軟性を高める運動については、各家庭において体が温まっている風呂上りなどにストレッチをするように等と指導を繰り返しているがなかなか定着しないようである。

今後は小中連携を進める中で、健康面や食生活・生活環境の改善などを各家庭により一層訴えていかなければならないと痛感している。

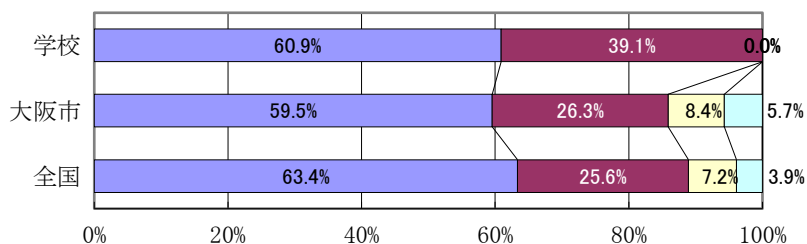
現在、日本の平均寿命は世界第2位 男性80.98歳女性87.14歳と高齢になっており、健康に生活するための生涯スポーツに関心を示さなければならないと考えている。生徒質問項目では中学校を卒業すると運動することが減少するような結果が出ており生活環境の見直しなど、健康に長生きするための手段として食育・運動を見直しが必要があると思われる。

運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

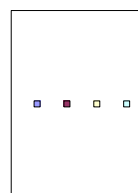
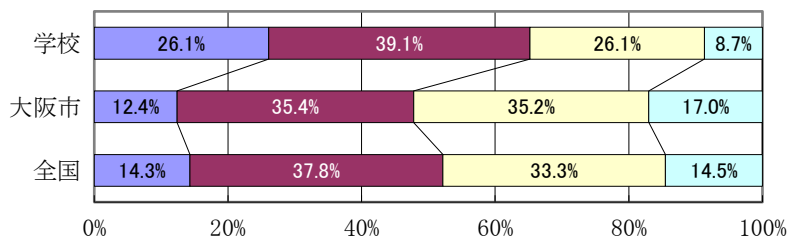
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



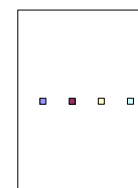
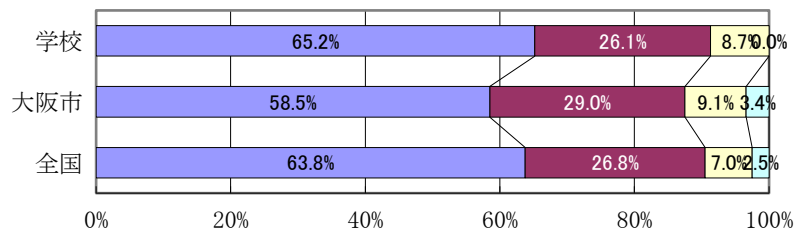
2

体力・運動能力に自信がある



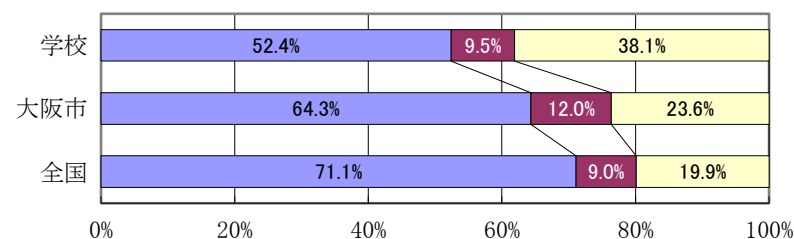
3

運動は大切



4

中学校を卒業した後、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



成果と課題

生徒は運動やスポーツをすることは大変好きようで、肯定的な回答が昨年度と同じ100%となった。運動に関しては自信を持っているようで、体育の授業においても前向きに取り組んでいる。ただ、中学校卒業後についてはなかなか運動する機会や環境が整っていないのか、残念ではあるが運動する時間を持つということに関心が持てないようである。

今後の取組

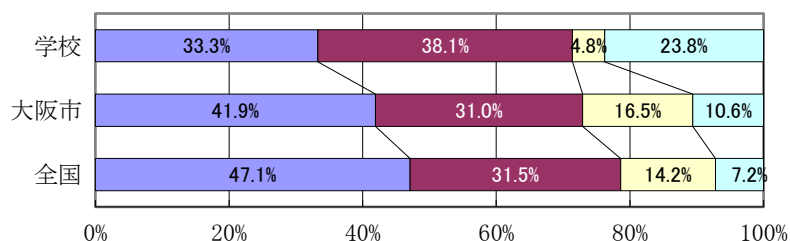
生涯スポーツという点でまだまだ指導していく必要がらると感じさせられた。近年、平均寿命が延びており健康維持管理するためにも積極的に取り組んでいく。

運動やスポーツについて（女子）

質問
番号 質問事項

1

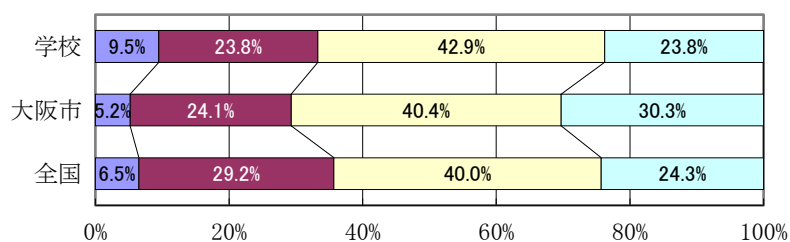
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

2

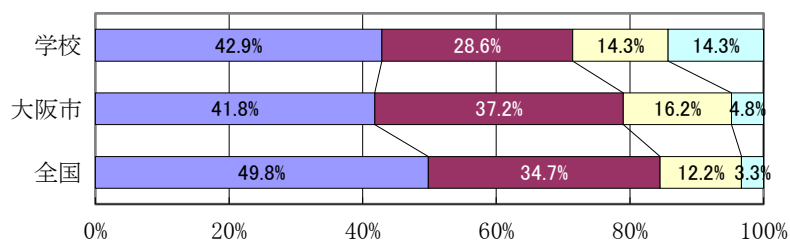
体力・運動能力に自信がある



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

3

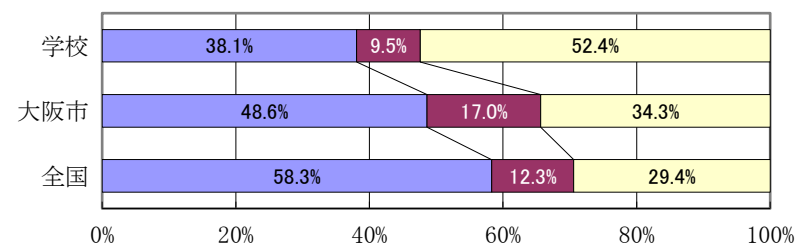
運動は大切



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

4

中学校を卒業した後、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

成果と課題

生徒は運動について興味関心を多くの生徒が示している。ただ、体力等について自信を持てるまでには至っておらず今後、様々なスポーツを通して親しみを感じ自信が持てるよう体験を積んでいく必要がある。

今後の取組

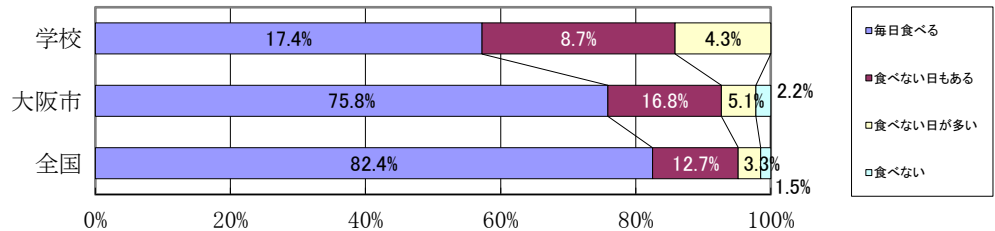
生涯スポーツという点でまだまだ指導していく必要がらると感じさせられた。近年、平均寿命が延びており健康維持管理するためにも積極的に取り組んでいく。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号 質問事項

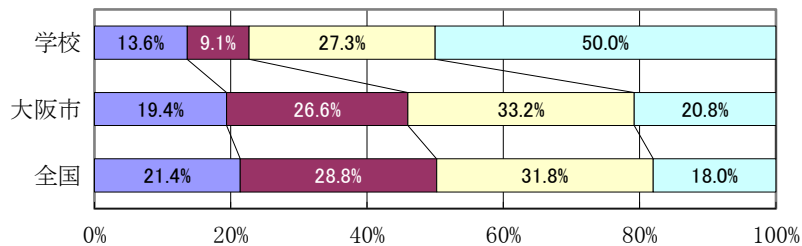
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



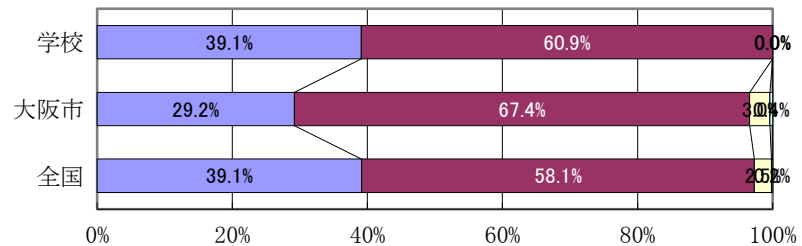
14

家の人からの積極的な運動の勧め



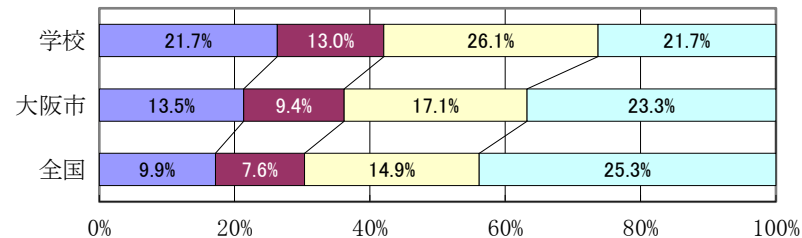
8

夕食を食べる



10

平日の視聴時間



成果と課題

全国学力学習状況調査においても、朝食やTV、ゲーム等に関する調査項目で同じような調査結果となっており、食育・生活習慣などの家庭環境の改善が必要であると毎年痛感させられるが、なかなか各家庭が自主的に改善することは望めない地域性があると思われる。

今後の取組

保護者を巻き込んだ食育・生活環境の改善を行っていかねばならないと考えるが、保護者は生活に追われ子どもの面倒を丁寧にみることのできない状況ががかる。特に生活指導面からも、SNSなどの利用について時間の制限や利用方法についての啓発を含め指導を繰り返し、視聴時間の短縮につながるよう努めていきたい。

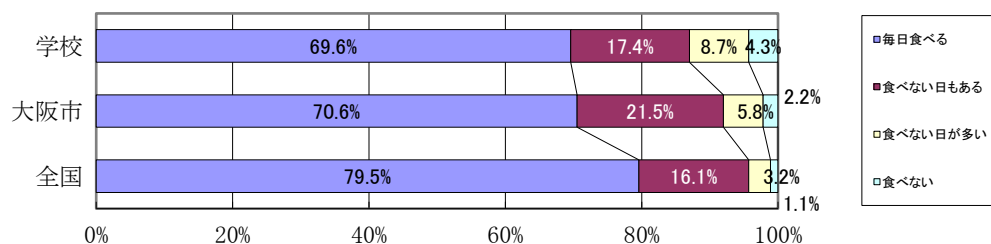
ふだんの生活について（女子）

質問
番号

質問事項

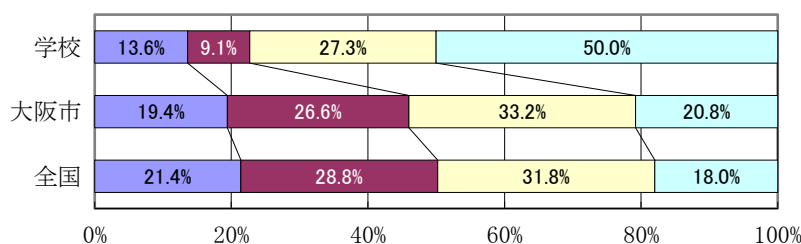
7

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



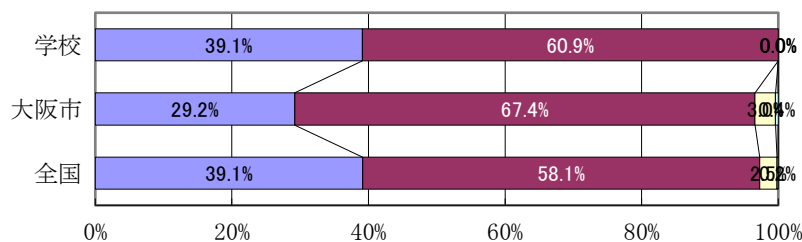
14

家の人からの積極的な運動の
勧め



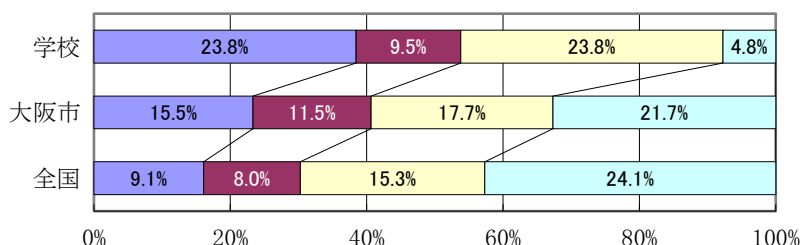
9

夕食を食べる



10

平日の視聴時間



成果と課題

全国学力学習状況調査においても、朝食やTV・ゲーム等に関する調査項目で同じような調査結果となっており、食育・生活習慣などの家庭環境の改善が必要であると毎年痛感させられるが、なかなか各家庭が自主的に改善することは望めない地域性があると思われる。

今後の取組

保護者を巻き込んだ食育・生活環境の改善を行っていかねばならないと考えるが、保護者は生活に追われ子どもの面倒を丁寧にみることのできない状況が広がる。
特に生活指導面からも、SNSなどの利用について時間の制限や利用方法についての啓発を含め指導を繰り返し、視聴時間の短縮につながるよう努めていきたい。

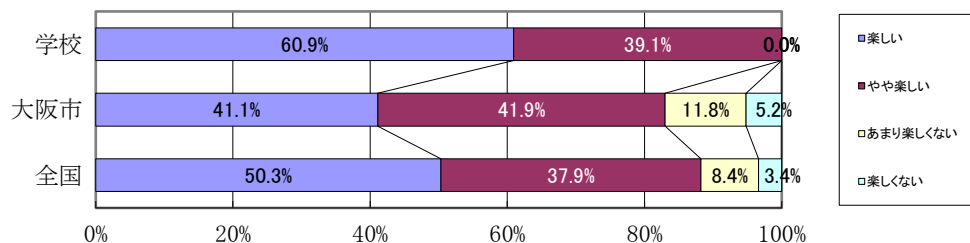
保健体育の授業について（男子）

質問
番号

質問事項

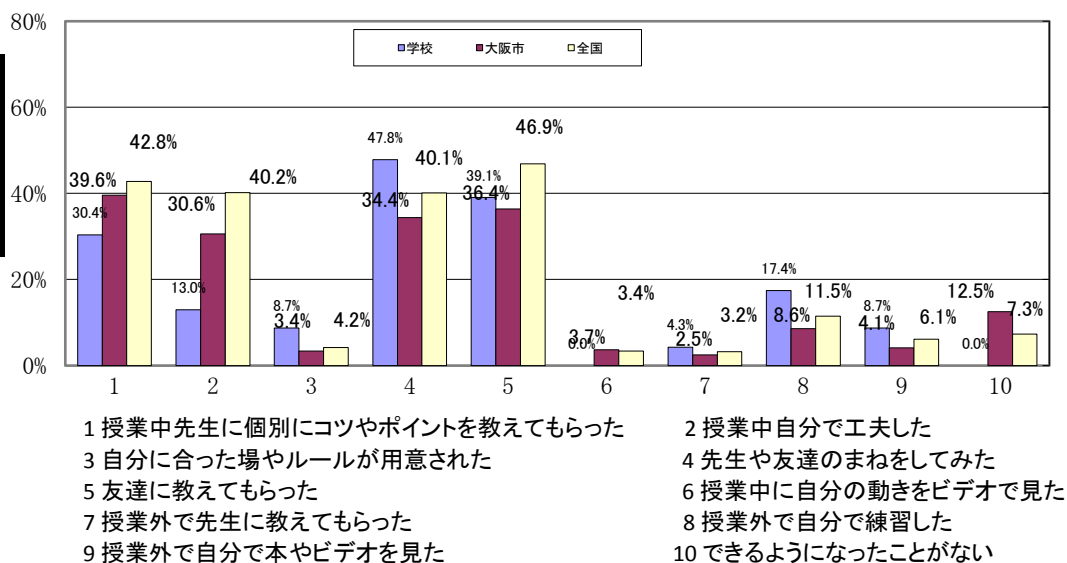
18

保健体育の授業は楽しい
ですか



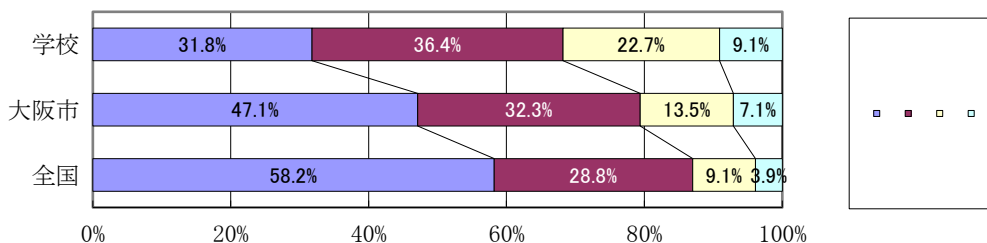
23

これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



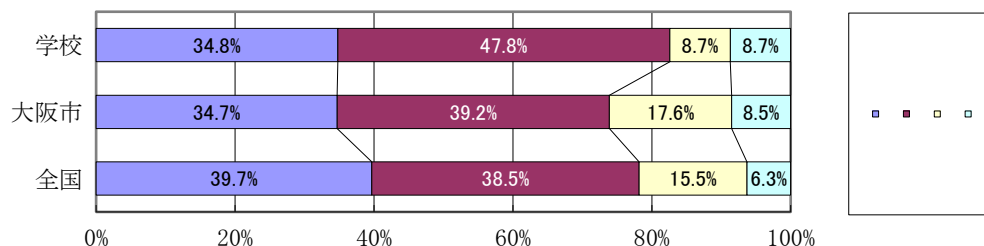
19

保健体育授業の目標が示
されている



27

保健体育授業で学んだ内
容は
将来役に立つ



成果と課題

保健体育の授業が楽しいですかという問いに対する答えが、100%肯定的な回答となり、生徒の興味関心を引出個に応じた丁寧な指導に取り組んだ結果であると考えられる。
決して楽しい種目ばかりの授業内容ではないのに、苦しい種目においても種目ごとにコツやポイントを指導してもらい、生徒同士の学び合いなどを取り入れた授業展開となっている。

今後の取組

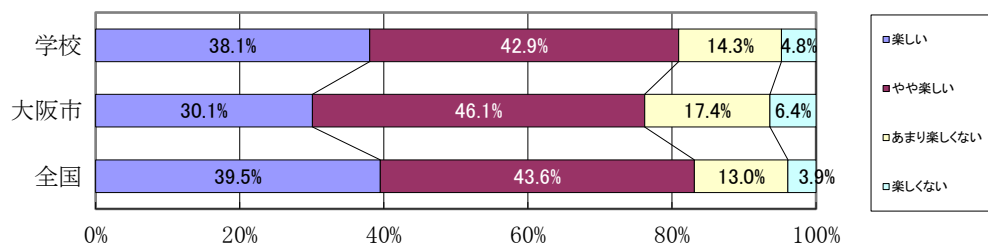
益々工夫を凝らした授業展開をしてほしいと考えており、ICT機器を導入した授業、様々な運動を映像で確認、視覚に訴える授業など特色ある授業展開を今後希望する。

保健体育の授業について（女子）

質問
番号 質問事項

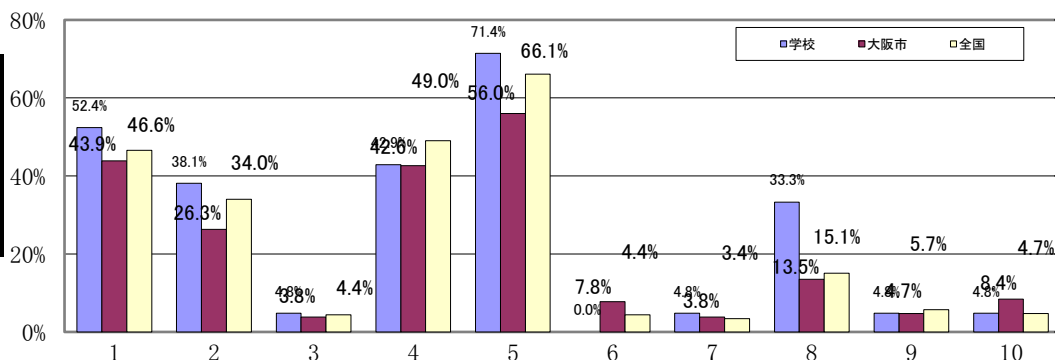
18

保健体育の授業は楽しい
ですか



23

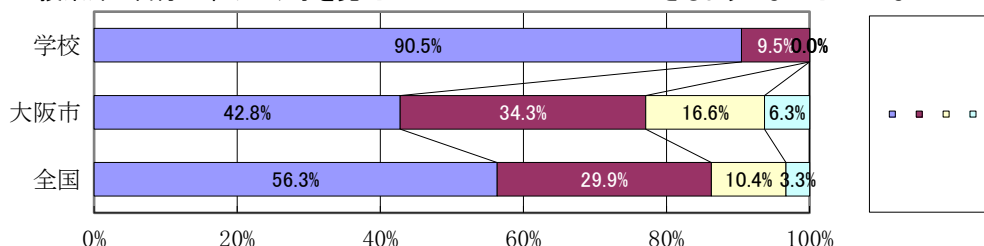
できないことができるように
なったきっかけ



- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 授業中自分で工夫した
- 自分に合った場やルールが用意された
- 先生や友達のまねをしてみた
- 友達に教えてもらった
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で練習した
- 授業外で自分で本やビデオを見た
- できるようになったことがない

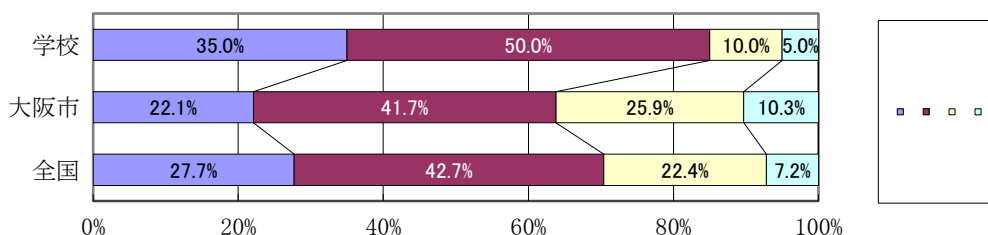
19

保健体育授業の目標が示
されている



27

保健体育授業で学んだ内
容は
将来役に立つ



成果と課題

昨年と比較すると、体育が好きという割合は若干減少しているがしかし多くの生徒が肯定的な意見を持っており、担当教員の指導力の高さを感じさせられる。
授業開始時に目標とするものを明確に示し、授業に取り組んでいる結果が生徒達にとっては意欲となって表れているものと考えられる。

今後の取組

運動能力テストにおける結果の悪い種目については、年度当初より最重要課題として克服するために年度目標として取り上げ、補強運動などで毎時間取り組みを進めているが「上体起こし」「長座体前屈」という種目においては1. 2年ではなかなかすぐに結果が出てくる項目ではなく、地道に年数を重ね今後も取り組んでいく必要がある。

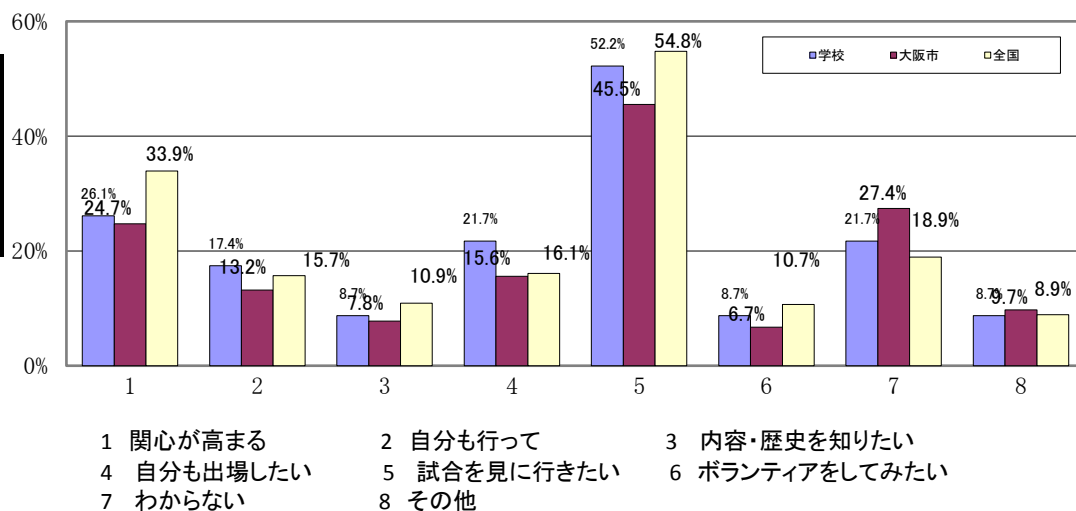
その他（男子）

質問
番号

質問事項

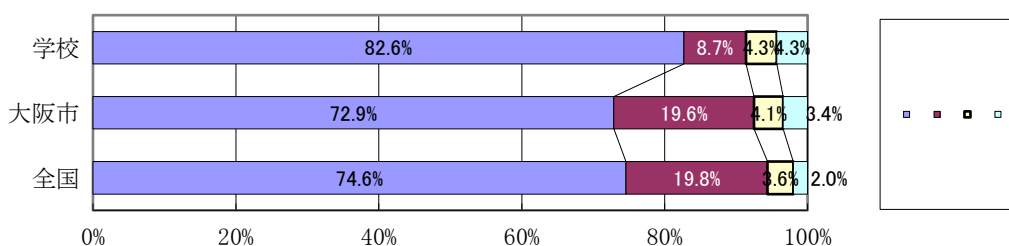
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30

最後までやり遂げてうれしかったことがある



成果と課題

本年度、平昌オリンピックが解された影響もあり例年に比べると関心は高かったようである。冬のオリンピック種目にはなかなか親しむ機会が少なく、興味関心はあるが出場というイメージは持ちにくいようであった。しかし、女子選手の活躍は励みになったのではないだろうか。

高校生や中学生と同じ年代の選手も出場しておりより身近に感じたのではないと思われる。

物事最後までやり遂げるという点では、男女ともに努力している姿がうかがえる。特に体育の授業における持久走については全昌が前向きに取り組む記録を伸ばしている。

今後の取組

オリンピックだけに限らず様々な社会貢献という意味で、ボランティア活動については今後生徒に説明・理解・指導していく必要があると感じた。

現在のオリンピックや様々な催しにおけるボランティア活動は無くてはならないものとなっており、今後、大阪で開催されるかもしれない万博においてはこの年代の生徒の活躍が期待されると考えられ、最後までやり遂げる精神力と奉仕の精神を身に付させたい。

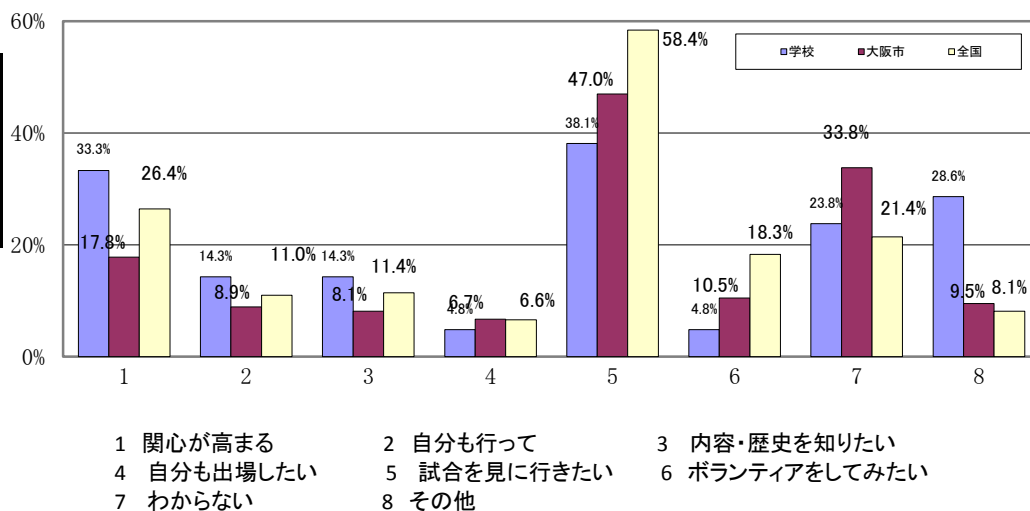
その他（女子）

質問
番号

質問事項

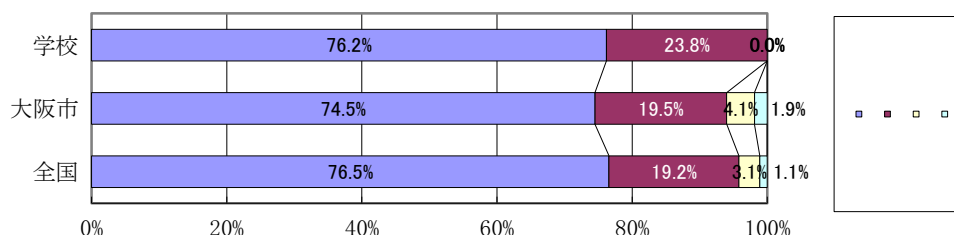
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30

最後までやり遂げてうれしかったことがある



成果と課題

本年度、平昌オリンピックが解された影響もあり例年に比べると関心は高かったようである。冬のオリンピック種目にはなかなか親しむ機会が少なく、興味関心はあるが出場というイメージは持ちにくいようであった。しかし、女子選手の活躍は励みになったのではないだろうか。

物事最後までやり遂げるという点では、男女ともに努力している姿がうかがえる。特に体育の授業における持久走については全員が前向きに取り組む記録を伸ばしている。

今後の取組

オリンピックだけに限らず様々な社会貢献という意味で、ボランティア活動については今後生徒に説明・理解・指導していく必要があると感じた。

現在のオリンピックや様々な催しにおけるボランティア活動は無くしてはならないものとなっており、今後、大阪で開催されるかもしれない万博においてはこの年代の生徒の活躍が期待されると考えられ、最後までやり遂げる精神力と奉仕の精神を身に付けたい。